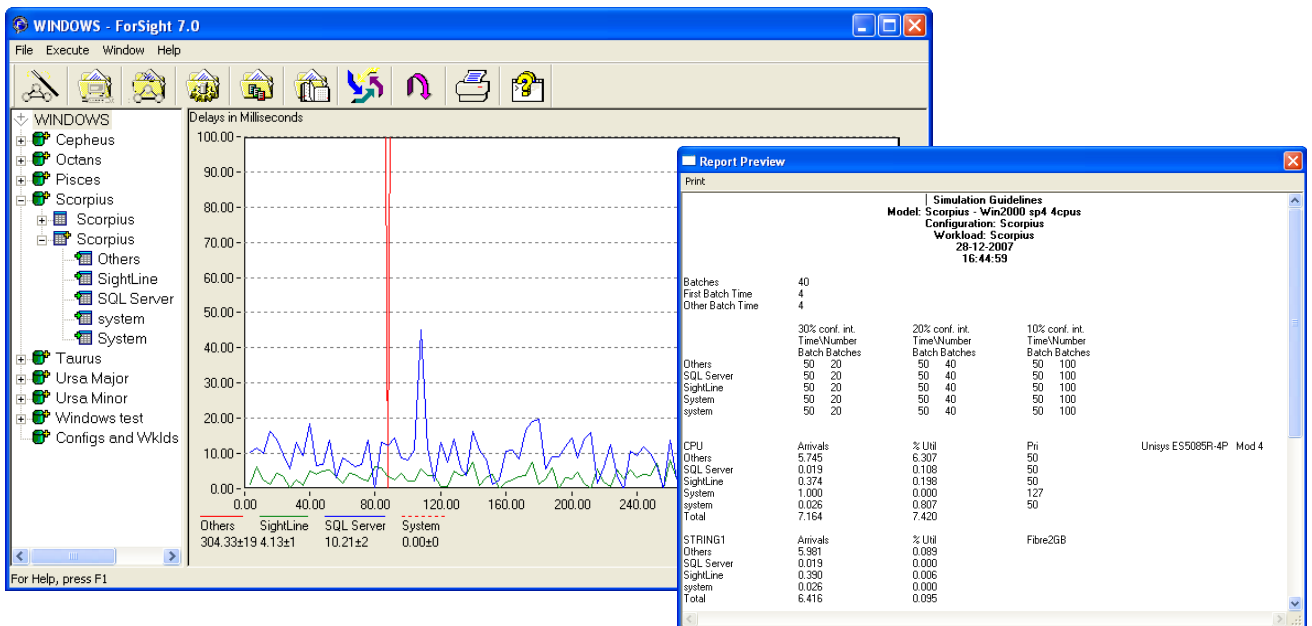


今日の経済状況において、IT インフラストラクチャへの投資を最大限に活用することは極めて重要です。IT 投資に関する意思決定は、最終損益に影響を与えます。サービス・レベルの問題を回避するために、単にハードウェアやネットワーク・キャパシティを増やす方法はもはや最良のソリューションではありません。しかし、インフラストラクチャへの要求が劇的に変化し、ユーザのニーズが刻々と変化する状況であっても、求められるサービス・レベルを維持することはこれまで通り必要です。SightLine™ ForSight™により、IT 担当者はインフラストラクチャのキャパシティを効率的にプランニングし、求められるサービス・レベルを確実に保持しながら、最良の投資判断を行うことが可能になります。

ForSight は、サービス・レベルをトランザクション関連の指標を基準として表示します。表示の内容は、SightLine により収集されるリソースの利用状況に関する詳細な情報を基準としています。トランザクション・パフォーマンス・モデルが作成され、CPU の利用時間率、CPU キュー、および I/O サブシステムの遅延に関する各情報など、トランザクション応答時間に影響する要素を視覚的に確認でき、最適化できます。トランザクションの完全な構造を表示し、利用可能なリソースまたは予期されるトランザクション頻度の変更を基準にパフォーマンスをモデリングすることで、最重要の業務トランザクションを調整し、優先度の高いサービスを基準にリソースを最適化できます。



ForSight は、キャパシティ・プランニング分野における SightLine の高度に最適化された解析機能を継承しており、そのシミュレーションにおいて業界で最高レベルの正確性が確保されています。ForSight のシミュレーション・モデルは、+/- 10%の信頼区間が確保されており、企業での利用に耐え得る効率性レベルとなっています。

ForSight のモデリング技術により、ユーザは自分で定義した仮説シナリオを検証することで、インフラストラクチャ・リソースの変更を素早くモデリングできます。仮説シナリオには、ハードウェア構成やトランザクション・サービス頻度についての変更提案も含めることができます。機器購入の要求が来月 20%増えたらどうなるか、または、より高速な CPU を購入した場合 Web ページの応答時間を高速化できるか、といった仮定シナリオを利用できます。包括的なハードウェア・ナレッジベースが ForSight に組み入れられており、新しいコンポーネントおよびパフォーマンス特性を動的に定義して追加できます。このナレッジベースを活用することで、ユーザはサービス・デマンドをシミュレートでき、さまざまなハードウェア構成でのサービス動作を観察できます。

ハードウェア構成は動的に定義でき、トランザクション・プロファイルはワンクリックで変更できます。また、結果を簡単に表示でき、グラフとレポートで解析できます。たとえば、データベース・スループットをモデリングし、サーバ構成やストレージ・サブシステムをアップグレードしたときのコストと利点について解析できます。また、サービス要求による負荷を増大することでボトルネックを予測できるようになります。シミュレーションの結果は色分けされたアイコンで視覚的に表示されます。ForSight の I/O モデリング機能 (特許取得済み) を使用すると、ディスク・キャッシュの特性を解析できます。たとえば、ディスク・キャッシュのサイズを倍にしたときにどうなるか、全体的なトランザクション・サービスレベルへの効果はどうなるか、といった仮定シナリオについて調査できます。ForSight は、広範なエンタープライズ・テクノロジーをサポートしています。

コンポーネント :

- ◆ データ収集
- ◆ 構成定義
- ◆ 負荷定義
- ◆ モデル定義
- ◆ 検証とシミュレーション

結果 :

- ◆ 負荷ごとのトランザクション応答時間
- ◆ シミュレーション再生
- ◆ サービス・レベル解析と比較
- ◆ 10%以内の正確性

ハードウェアとオペレーティング・システム構成 :

- ◆ 1ギガヘルツ以上のx86またはx64プロセッサ
- ◆ 1ギガバイト以上のRAM
- ◆ 20ギガバイト以上の空き容量のあるディスク領域
- ◆ Microsoft® Windows®



日本サイトラインシステムズ株式会社

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10

ユニゾ芝二丁目ビル 3F

<http://www.sightlinesystems.co.jp/>

<http://blog.sightlinesystems.co.jp/>

<http://www.facebook.com/SightLineSystemsJapan/>

<https://www.google.com/+SightlinesystemsCoJpPlus/>

<https://twitter.com/sightlinejapan/>

<http://www.youtube.com/user/SightLineSystemsJP/>